

※2023年5月2日～2025年5月1日の期間

教育研究業績書

氏名	きとう ひろや 木藤 裕也		職名	特任助教（修士（生物資源学））
専門分野	水圏資源生態学			
所属学会	日本水産学会，日本人工知能学会			
担当科目	AI 概論，情報理論 I, 情報理論 II，データサイエンス実習，専門演習 a，専門演習 b			
I 教育活動				
教育実践上の主な業績		概 要		
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		授業では PowerPoint のスライドだけではなく、Markdown 形式のアウトライナーを用いてデジタル板書を実施している。これは、情報を階層構造として整理・表示できるツールであり、スライドとは異なり授業中でも記入や語句の強調が柔軟に行えるため、構造的かつ動的な情報提示が可能である。これにより、授業内容を論理的に展開しつつ、重要概念間の関係性を可視化し、リアルタイムでの補足や再構成を通じて学生の理解と内容整理を支援している。また、各授業の最後には Microsoft Forms を用いて学生からのフィードバックを収集しており、授業の理解度やその根拠、授業内容の要約などを質問している。これにより、学生自身によるメタ認知を促すとともに、教員側も理解の程度やつまずきの傾向を把握し、次回以降の授業設計に反映させている。		
2. 作成した教科書、教材、参考書		なし		
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし		
4. その他教育活動上特記すべき事項		なし		
II 研究活動				
学会発表				
発表（報告）名等	単独 共同	発表の年月	学会名等	
深層学習を用いたデジタルカメラ画像によるマナマコの体サイズ測定法の開発	共同	2023年9月	日本水産学会秋季大会（宮城県仙台市）	
3D プリンター造形を活用したマナマコの個体識別標識の開発	共同	2023年12月	日本水産学会中部支部大会（三重県津市）	
深層学習によるデジタルカメラ画像内のマナマコの高精度検出	共同	2024年3月	日本水産学会春季大会（東京都港区）	
Development of individual identification of the Japanese sea cucumber <i>Apostichopus japonicus</i> based on deep metric learning	共同	2024年10月	North Pacific Marine Science Organization (PICES)（アメリカ，ホノルル市）	
III 社会における主な活動				
なし				